

ふるさと発見！（小・中学生向け）

みやのもり学府

〔児童・生徒数〕 令和7年5月1日現在

たはら 田原小学校	211人
とうぶ 東部小学校	760人
しんめい 神明中学校	422人



田原小学校通学区

たまごし にししま みかの みかのだい みょうがしま みょうがしまばら ひこしま
玉越、西島、三ヶ野、三ヶ野台、明ヶ島の一部、明ヶ島原、彦島、
いわい
岩井の一部

東部小学校通学区

にしの上ま かみみなだ あくろ いつちようめ にちようめ きのさき かまだ
西之島、上南田、安久路一丁目、安久路二丁目、城之崎、鎌田、
しんがい
新貝、新貝一丁目、新貝二丁目、新貝三丁目、東貝塚、稗原、
ひがしわき しんで わくち ひがしあらや おおだての としんちよう にしかいづか
東脇、新出、和口、東新屋、大立野、東新町、西貝塚の一部、
ふじみだい みつけ
富士見台の一部、見付の一部、明ヶ島の一部



どうやまこふん いぶつ
堂山古墳出土遺物

ぶんかざい
『磐田の文化財』磐田市文化財課より

みやのもり学府は、田原小学校の全通学区と、東部小学校の通学区の一部をあわせた地域です。学府名は神明中学校がかまたしんめいぐう みや かこ 鎌田神明宮（宮）の森に囲まれていることに由来します。他にもろくしよじんじや てんざい 六所神社などの宮が点在しています。歴史のある寺社、じゆうよう いせき こふん 重要な遺跡や古墳がみられる一方、JR 東海道本線の駅や大きな工場、スタジアムなどもあります。



ちめい ゆらい 地名の由来

れいわ かいぎょう みくりや
鎌田に2020（令和2）年3月に開業した「御厨駅」の駅名は、この地区の昔の村名に由来します。この地域には、へいあん いせじんぐう しょうえん かまたのみくりや 平安時代より伊勢神宮の荘園「鎌田御厨」がありました。御厨とは御（神）と厨（台所）で、神様の食事を用意する水田などの農地のことです。鎌田神明宮は、鎌田御厨の守り神をまつった神社です。



御厨駅
（2025年撮影）



鎌田神明宮
（2025年撮影）

みやのもり地区の地図



堂山古墳出土
かちゆうがた
甲冑形埴輪

「いわたふるさと散歩(東部編)」

磐田市文化財課より

1 じょうもん くら 縄文人の暮らしを知る

① 縄文時代、今の西貝塚にあたるには、4つの貝塚が集まっていました。「西貝塚遺跡」と名づけられたこれらの貝塚からは、貝殻といっしょに、鹿の骨でできた銚先（魚を突く道具）や矢じり（獣を射る道具）などが見つかりました。

また、大きな古墳がいくつもみられることも、この地域の特徴です。

② 堂山古墳からは、*輶形埴輪などめずらしい埴輪が発見されました。

③ 神明中学校周辺の5基の古墳は、あわせて「御厨古墳群」と呼ばれていて、国指定文化財（史跡）となっています。なかでも松林山古墳はその大きさと三角縁神獣鏡などの副葬品が多く出土し、静岡県を代表する古墳となっています。

④ 明ヶ島古墳群からは人や楽器、動物などの形をした土製模造品が4,000点以上見つかっています。これほどの数が発見されるのはたいへん珍しく、国の重要文化財(有形文化財)となっています。

*輶…弓のつるが手に当たるのを防ぐ、革でできた道具。

5

大日堂の古戦場

1572（元龜3）年、徳川家康は武田信玄の軍勢を迎え討とうと、三ヶ野坂に陣を構えました。この時、徳川方の武將本多平八郎忠勝が、大日山（現在の大日堂のあたり）にあった大きな松に上り、袋井市方面の武田軍を偵察しました。現在は残っていませんが、その松が「本多平八郎物見の松」と伝えられています。

6

名勝「医王寺」と近代教育の幕開け「坊中学校」

鎌田にある医王寺は「東海の苔寺」と呼ばれ、734～748（天平6～20）年、行基菩薩により建てられたと伝わる真言宗の寺院です。はじめの寺の境内は、現在の数倍もあり、金剛院と称して寺院が8つも集まっていた。医王寺はその1つだったのです。ところが1572（元龜3）年の徳川と武田の戦いで焼失してしまいました。その後、徳川家康により医王寺と薬師堂だけが再建されました。

医王寺庭園は小堀遠州の作ともいわれ、江戸時代の初期につくられました。また山門に向かう参道は苔で覆われ、長い歴史を誇る寺らしい荘厳さを伝えていきます。庭園および参道は磐田市指定文化財（名勝）になっています。

寺には武田家、豊臣家、徳川家の古文書などの歴史資料や、奈良時代から平安時代の優れた歌人を描いた、「紙本金地 著色三十六歌仙図」とよばれる屏風絵など、貴重な寺宝が残されています。

1872（明治5）年に学校の制度が定められ、全国各地に小学校が設立されるようになりました。現在の磐田市で最初に新築されたのが坊中学校です。1875（明治8）年、住職の松村淳高（1840-1893）の資金寄付により境内につくられました。当時ではめずらしいペンキ塗りの木造3階洋風校舎で、100名以上の生徒が学ぶことができました。

のちに見付学校、西之島学校と共に遠州三大学校と呼ばれて有名でした。

しかし1909（明治42）年、落雷による火災で校舎は焼失してしまいました。現在も淳高の功績をたたえる頌徳碑が、境内に建っています。



医王寺庭園（磐田市指定文化財）
『磐田の文化財』磐田市文化財課より

7

田原の耕地整理 《名倉太郎馬》

名倉太郎馬（1840-1911）は、1872（明治5）年から川の氾濫などにより、多くの水害を受けていた田原村の耕地整理（田の大きさや形、あぜ道、水路を整えること）を、村人と力を合わせて行いました。また、田に縄を張りまっすぐに苗を植える「すじ植え」などを行い、日本の耕地整理の先駆けとなりました。

8

9

歓声ひびく、「ヤマハスタジアム」と「兎山公園」

⑧ ヤマハスタジアムは、ジュピロ磐田と静岡ブルーレヴズのホームスタジアムです。ピッチと観客席の距離が非常に近く、試合の臨場感を楽しむことのできる設計になっています。

⑨ 兎山公園は隣接する鎌田神明宮の自然林と、一面が芝生の広場とが調和した緑豊かな公園です。さまざまな遊具など、家族で楽しむことができる遊びのスポットがあります。なかでもビオトープは市民のくつろぎの場ともなっています。公園の東側には30本の河津桜の並木があり、春には鮮やかに咲き誇ります。



ヤマハスタジアム前の
ジュピロくん
(2025年撮影)

くわしく調べるには

■遺跡・古墳について

- ・『磐田市史 史料編1 考古・古代・中世』 ・『図説 磐田市史』
- ・『磐田の文化財』 ・『ここまでわかった三ヶ野・明ヶ島の遺跡』 ・『磐田の古墳』
- ・『前方後円墳とイワタの時代』★

■大日堂や本多平八郎物見の松について

- ・『磐田ものがたり』 ・『磐田ことはじめ 第1編』
- ・「磐田を知りたい！調べたい！（小・中学生向け）磐田の戦国武将物語」◆

■医王寺や坊中学校、文化財について

- ・『磐田の文化財』 ・『いわた文化財ガイド』
- ・「磐田を知りたい！調べたい！（小・中学生向け）磐田の学校の歴史（遠州三大学校）」◆
- ・『いわた文化財だより（合冊版）』★ ・『新しいわた文化財だより（合冊版）』★

■名倉太郎馬について

- ・『わたしたちの磐田』 ・『磐南平野の金字塔』
- ・「磐田の著名人一覧」◆

■兎山公園について

◎磐田市ホームページ



図書館
ホームページ



磐田市
ホームページ

※◆印は図書館ホームページの「発見！いわた」コーナー、★印は電子図書館から見ることができます。